



東芝情報機器杭州社 サイトレポート情報	
所在地	浙江省杭州市輸出加工区内M12-19-1
敷地面積	173,738m <sup>2</sup> 、建家面積: 52,218m <sup>2</sup> 、緑化率32.1%
設立	: 2002年6月、従業員: 3,136人(2011年3月現在)
主要製品	: ノートブックPC, 携帯情報端末機器
ISO14001認証取得	: 2003年6月、最新更新年月: 2010年6月 (ISO認証番号: 17-2007-003)



## ごあいさつ

グリーン化製品を設計、商品化し、グリーン化された生産プロセスの実現は、当社の環境に関わる本質目標です。2010年度は、東芝のノートPC25周年の年であり、その記念モデルとして、自製の超薄型軽量で、高性能、省エネのPortégé R700(dynabook RX3)を発売し、多くのお客様から好評を博しました。また生産プロセスも、更に高度化された環境管理システムの運用のもと、高品質でお客様に満足戴ける製品が供給出来る様、日夜工場体制の整備強化を進めており、今後も当社は一丸となって環境経営を進めます。



環境保全責任者:  
八重樫 昭徳

## 2010年度の環境の主な取り組み

- ☆環境関連施設の現場管理を更に強化し、東芝総合環境監査の4年連続Aレベルの評価を獲得。
- ☆クリーン生産監査と電気バランステスト監査に合格。
- ☆CO<sub>2</sub>排出量原単位の削減: 省エネ月間、ソーラー照明の採用、LED照明、コンバーター制御、ウエットフィルム加湿など新しい技術導入による、CO<sub>2</sub>排出量原単位、対2009年度25%削減。
- ☆水道水使用量原単位の削減: 従業員に向けた節水宣伝、節水活動の実施、及び水バランス管理による、水道水使用量原単位、対2009年度33%削減。
- ☆廃棄物発生量原単位の削減: 単位梱包材内の収納部品数量の増加、ベンダー梱包材のリユース強化による、廃棄物発生量原単位、対2009年度11%削減、最終処分率0.086%達成。
- ☆化学物質排出量原単位の削減: 生産技術改良、化学薬品無害化、及び生産過程の暴露制御による、排出量原単位、対2009年度32%削減。(但し、生産高対2009年度72%増加により、絶対値では排出量は16%増加。)
- ☆環境教育: 延べ6,673人の環境教育を実施、所定の2010年度全員環境教育を完了。

## 製品・環境技術開発、環境配慮ポイントの紹介

- ☆RoHS設計と製造システムの構築と強化。
  - ☆マグネシウム複合材料及びハニカム式構造を採用し、強度維持での製品軽量化を実現。
  - ☆PCB回路設計の改善を通じて、残った材料を削減。
  - ☆3Dハードディスク保護技術と顔識別技術及びHDD保護技術を採用。
  - ☆電源interface“ACPI”と「東芝省エネプログラム」による、高性能ノートブックPCの消費電力削減。
  - ☆リサイクルプラスチックをノートブックPCのケース材料として再利用。
- = 東芝ノートPC25周年記念モデルPortégé R700(dynabook RX3)は、世界一薄く軽量の内蔵型DVDスーパーマルチドライブ搭載のノートPC(最薄部: 18.3mm、重さ1.36Kg) =**

## 環境コミュニケーションの紹介

- ☆環境報告書の発行: 2005年から毎年発行、2010年10月には、日本語の環境報告書を発行。
- ☆ボランティア活動:
  - ①2010年 4月 景園社区“愛護緑化美化家園”植樹活動。
  - ②2010年 9月 第十回全民清掃活動。
  - ③2011年 3月 TLGH共産主義青年団委員会により「低炭素を提唱、グリーン化交通を推進」という活動。
- ☆東芝グループ内部環境コミュニケーション:
  - ①2010年 7月 TCH第4回環境実績者コミュニケーション。
  - ②2010年 7月 PTCはTIHへの見学。
  - ③2010年10月 HTHTはTIHへの見学。
  - ④2011年 1月 第20回東芝環境展参加。
- ☆行政部門とのコミュニケーション:
  - ①2010年 6月 浙江省輻射協会の成立大会の出席。
  - ②2010年10月 開発区安全生産会議参加。
  - ③2011年 1月 開発区汚染の元調査養成大会参加。

## 環境方針

当社の経営理念及び東芝事業行動基準に基づき、環境方針を次のように制定する。

東芝情報機器杭州社は東芝DPG(Digital Products Group)の中核拠点であり、風光明媚な杭州西湖風景区の東側、銭塘江北岸の中国杭州市経済技術開発区輸出加工区に位置し、設計から製造まで一貫した開発生産体制で、ノートPCなど世界のお客様に喜ばれるIT関連商品を提供しています。

当社は、東芝グループの環境方針、及び杭州市経済技術開発区の環境重点政策に対応して、環境経営への取り組みを経営の最重要課題の一つとして位置づけ、環境に配慮した生産活動の推進及び環境調和型製品の世界各国への提供を通じて、低炭素社会と循環型社会と自然共生社会を目指し、持続可能な社会の実現に取り組んでいきます。

### ◆ 環境経営の推進

- 1.環境経営に関する法令、当社が同意した行動規範及び当社独自の基準を遵守します。
- 2.当社は生物多様性を含む事業活動、製品、サービスについての環境影響評価に基づき、環境目標及び環境指標を設定して、継続的な環境負荷の低減活動を推進します。
- 3.環境経営活動を全員で取り組み、本環境方針を含む教育・啓発を通じて従業員の環境意識を高め、関係会社等に積極的に指導・支援を行います。
- 4.地域・社会との協調及び連携を積極的に行い、環境コミュニケーション活動を推進し、環境への取り組み状況を、環境報告書等を通じて積極的に情報公開します。

### ◆ 環境調和型製品開発・設計での環境負荷低減

- 1.省資源設計。
- 2.省電力設計。
- 3.製品材料のリサイクル化推進。
- 4.環境に悪影響を及ぼす化学物質の排除、特定有害化学物質情報の公開。

### ◆ 事業プロセス環境活動での環境負荷低減

- 1.省エネ活動の推進、CO<sub>2</sub>排出量の低減、地球温暖化の防止。
- 2.節水の推進、水道水消費量の低減。
- 3.廃棄物処理基準とした3R(Reduce、Reuse、Recycle)の推進、ゼロエミッション維持に向けた活動。
- 4.雨水排出への適正管理、生活污水の基準値内の排出。
- 5.グリーン調達推進、環境負荷の少ない物品の積極的な購入・使用。
- 6.環境に悪影響を及ぼす化学物質の適正な管理。

### ◆ 「特徴環境活動」として

環境活動に、危険予知訓練(KYT)を導入により、環境影響要因を抽出し、環境リスクに対する予防活動を行う。

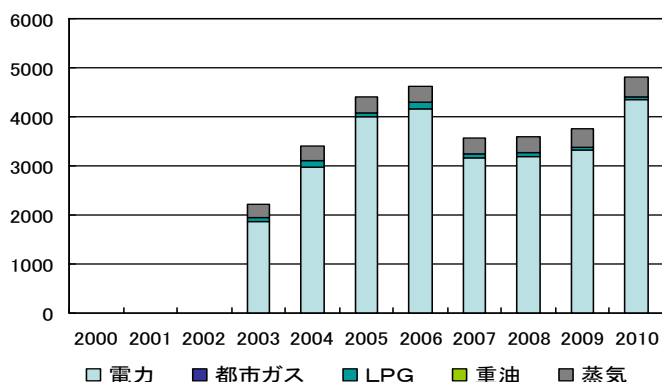


総経理：

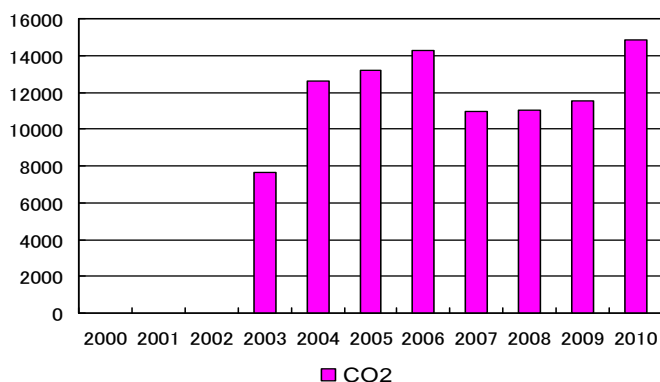
八重樫昭統

環境負荷データ

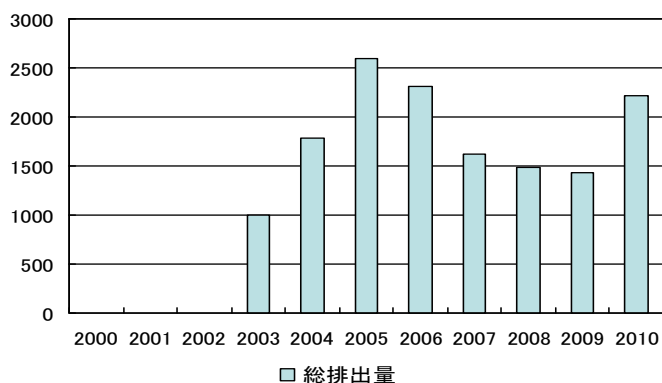
エネルギー使用量(単位:KL)



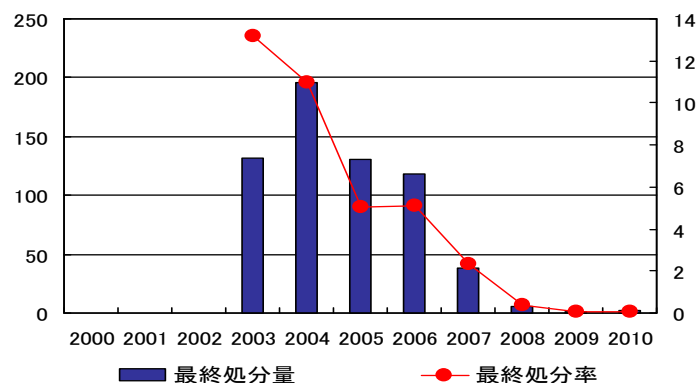
CO<sub>2</sub>排出量(単位:トン-CO<sub>2</sub>)



廃棄物総発生量(単位:トン)

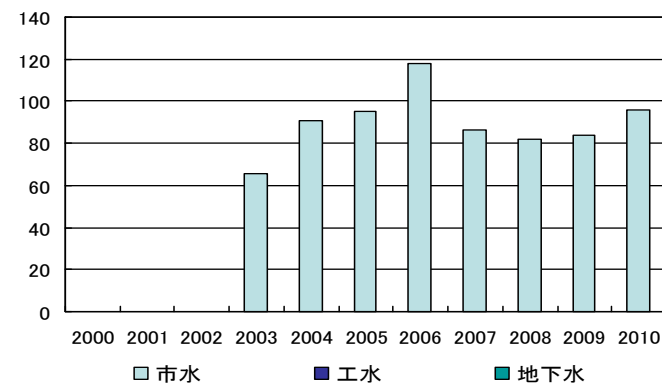


廃棄物最終処分量と最終処分率(単位:トン、%)

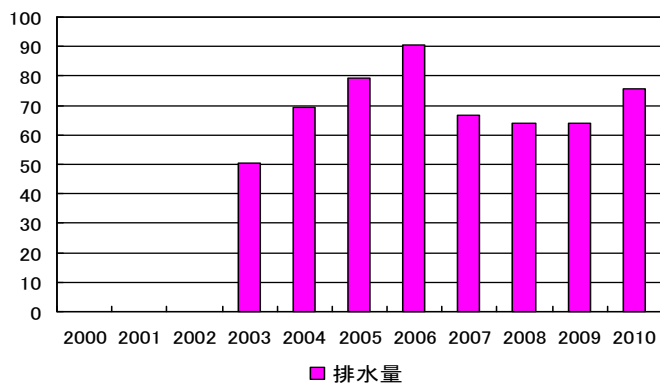


主な廃物名: 廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、金属くず等

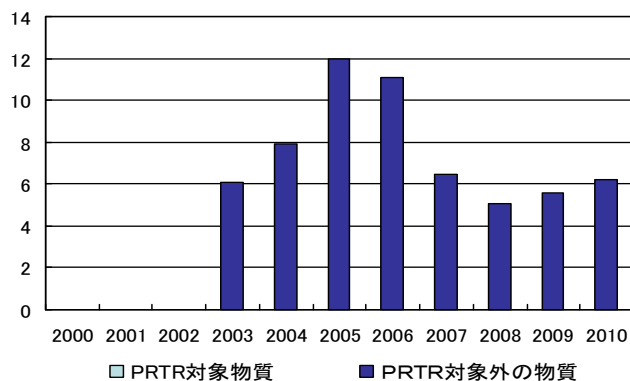
水の使用量(単位:千m<sup>3</sup>)



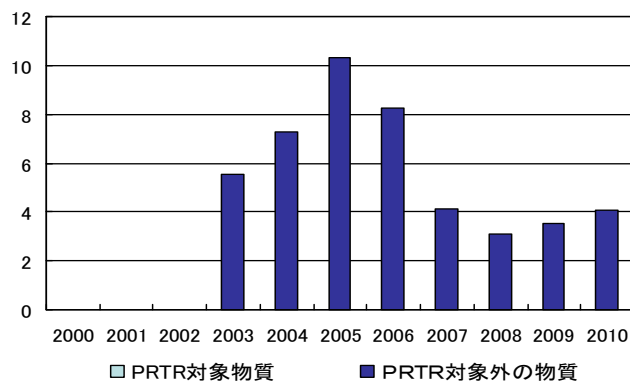
排水量(単位:千m<sup>3</sup>)



化学物質削減対象物質の取扱量(トン)



化学物質削減対象物質の排出量(トン)



主な化学物質: エチルアルコール、イソプロピルアルコール、n-ヘキサン、アセトン、メチルアルコール、テトラヒドロフラン、2-アミノエタノール

**遵法管理状況**

<大気測定結果> 対照施設なし

	法規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
NOx(ppm)	対象外	対象外	対象外	対象外
SOx(Nm3/h)	対象外	対象外	対象外	対象外
ばいじん(mg/Nm3)	対象外	対象外	対象外	対象外

<排水測定結果> 河川へ放流なし

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	対象外	対象外	対象外	対象外
BOD(mg/ℓ)	対象外	対象外	対象外	対象外
COD(mg/ℓ)	対象外	対象外	対象外	対象外
SS(mg/ℓ)	対象外	対象外	対象外	対象外
窒素(mg/ℓ)	対象外	対象外	対象外	対象外
フッ素(mg/ℓ)	対象外	対象外	対象外	対象外

<騒音・振動測定結果> 特定施設(騒音:動力施設(コンプレッサー機3台、冷凍機5台、ポンプ13台)。振動:対象施設なし)

	測定場所:時間	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
騒音(dB)	敷地境界:昼	65	63.4	54.2	1次/年
	敷地境界:夜	55	53.5	昼間値は規制値により低くて、夜間値を測定しなくても良い	1次/年
振動(dB)	敷地境界:昼	対象外	対象外	対象外	対象外
	敷地境界:夜	対象外	対象外	対象外	対象外

<その他測定結果> (下水道法:主な測定結果)

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	6.0~9.0	6.15~8.85	(1#)6.49,(2#)6.75	1次/年
COD(mg/ℓ)	500	475	(1#)299,(2#)57.5	1次/年
SS(mg/ℓ)	400	380	(1#)57,(2#)22	1次/年

説明:TIHは二つの廃水放流口を有する。

(1#)数値は1#の廃水放流口の排出濃度。(2#)数値は是指2#の廃水放流口の排出濃度。

<環境事故・指導指摘・苦情の有無>

	状況
環境事故発生の有無	なし
工場周辺や地域での環境問題発生の有無	なし
行政からの指導・指摘の有無	なし
近隣住民からの苦情の有無	なし